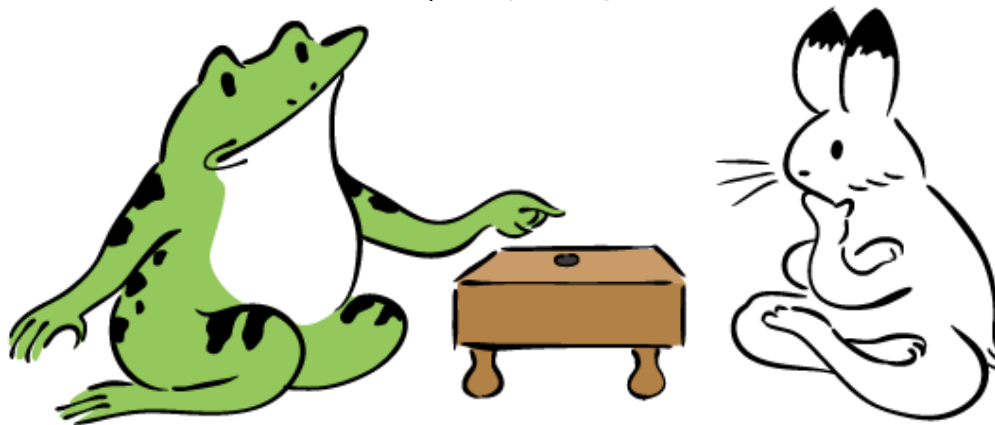


中学生
国語実践クラス

4 月 30 日



授業前に以下のものを準備してください。

筆記用具・このプリント(またはノートや裏紙)・テキスト「ロジカル国語表現」

名前_____



第9号 2020/4/21

「KOMABA DAY」は月に一度実施している日で、世界で起こっている様々な問題に子どもたちが触れる機会を作っています。また、同日は募金箱も設置します。集まった募金は災害などの緊急支援や KOMABA の開校以来、その活動を応援し続けているトータルペインター・ミヤザキ ケンスケさんのプロジェクト OVET THE WALL に役立てられます。なお楽しみながらの活動を目指しているため、「KOMABA DAY」では講師は私服で授業をし、生徒は授業中の飲食を可としています。

思いあい、助け合うこと

手作りマスクを県に寄付した少女 今度は大学医学部に寄付【2020年4月21日】

3月に約600枚もの手作りのマスクを山梨県に寄付して感謝された、中学2年生の滝本妃(13)さん。今度は、山梨大学の医学部に手作りマスク約250枚を届けた。

山梨大学の付属校に通う滝本さんは、県に手作りマスクを寄付したのがきっかけで学長賞を授与された。その際に、医療現場でマスク不足が起きていることを知ったという。医療現場でも使えるよう、抗ウイルス加工を施したコットンを間に入れて縫っていた。これまでに約900枚を手作りして、寄付してきた滝本さん。反響が多い一方で批判的な声もあったことから、縫うのをやめていた時期もあったという。そんな時支えになったのは、マスクを受け取った人からの手紙だった。たくさんのメッセージに支えられ、再びマスク作りに取り掛かった滝本さん。そして今回の寄付になった



作ったマスクを寄付する滝本さん



中国から那覇市へ善意で届けられたマスク

大変な状況にある人の力になりたい、大変な時だからこそ誰かを応援したい。そう思い行動することが、実際に誰かの力になることもあります。2011年の東日本大震災の時には、国内のみならず国際的な援助がたくさん報告されました。今回のコロナの件でも海外からのマスクの援助は多数報告されています。なぜ助け合いたいと思うのでしょうか。その根本には「感謝」という気持ちがあるのではないのでしょうか。今回の件で、普段私たちが何気なく暮らしている「日常」は、人々の頑張りが積み重なってこそ出来上がっているということがよく分かりました。普通だと思っていた日常はありがたいことで、感謝すべきことだったのかもしれない。では、どんなことに感謝できるでしょうか。そして、そのお礼に私たちはなにができるでしょうか。良かったら、自分の身の周りで考えてみてください。自分の感謝で誰かを助けることができるかもしれません。(谷口)

● 次の□にあてはまる漢数字を答えて、ことわざを完成させましょう。

① □を知って□を知らず

…判断力や考えがせまく、応用がきかないことのとえ。

② □人寄れば文殊の知恵

…一人ではだめでも三人集まって相談すればよい知恵がでる。

③ □里の道も□歩から

…どんなに遠大な計画や事業も手近な事の実行からはじまる。

④ □度目の正直

…一、二回目はあてにならない勝負や占いも三回目は確実だ。

⑤ □里を行く者は□を半ばとす

…何事も終わりのほうが困難だから気をゆるめてはならない。

ニュースの内容を簡潔にまとめましょう。

重要だと思った部分

下書きの内容をもとに八〇字以内で要約しましょう。

[illegible]

読解力アップに役立つことば②

学習日

月

日

いろいろな文章を読むと『副詞』ということばが、効果的に使われているのがわかります。副詞は、場面や人物の様子などを生き生きと表すはたらきをします。ここでは副詞を中心に学びましょう。

- ☐ あえて……①わざわざ。②とくに。
- ☐ ありありと……目で見えるようにはっきりと。
- ☐ あわよくば……うまくいったら。
- ☐ いたずらに……むだに。意味もなく。
- ☐ おずおずと……おそるおそる。
- ☐ おのずから……しぜんに。ひとりで。

例題①

次の□にあてはまることばを、右から選んで書きなさい。

- (1) 立ち止まっても、□時が過ぎるだけだ。
- (2) 彼女の笑顔が□目にうかがふ。
- (3) 姉は犬が苦手だったが、□手を差し出した。
- (4) この試合は□勝てるかもしれない。

☐ ごく……きわめて。もっとも。

☐ しきりに……何度も。むやみに。たえず。

☐ しばしば……たびたび。何度も。

☐ しばらく……少しの間。ひさしぶり。

☐ ただ……それだけであって他に何もない様子。

例題②

次の□にあてはまることばを、右から選んで書きなさい。

- (1) ハチ公は□、飼い主に会いたかっただけである。
- (2) 運動会ができるかどうか、□様子をみましょう。
- (3) プロサッカー選手になれるのは□少数である。
- ☐ たちまち……にわか。すぐ。あっという間。
- ☐ つくづく……念を入れて。念入りに。深く感ずるさま。
- ☐ 非常に……はなはだしく。たいそう。
- ☐ ふと……急に思いついて。
- ☐ ようやく……しばらくたって。ゆっくりと。

例題③

次の□にあてはまることばを、右から選んで書きなさい。

- (1) あゆみは□空を見上げ、雨が降りそうだと感じた。
- (2) 何時間も降り続いた雨が□あがった。
- (3) 新発売のゲームは□売り切れてしまった。

【言いまわしが決まっていることば】

次に並んでいるのは、決まった言い方をする**ことば**です。

これを**呼応**(こおう陳述ちんじゆつ)の副詞といいます。

- | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| ☐ もし〜なら | ☐ たとえ〜でも | ☐ まるで〜(よう)だ |
| ☐ 全く〜ない | ☐ けっして〜ない | ☐ ほとんど〜ない |
| ☐ めったに〜ない | ☐ よもや〜まい | ☐ おそろく〜だろう |

〈例〉ぼく達は練習をしてきた。よもや負けるようなことはあるまい。

例題 4

次の□にあてはまることばを、右から選んで書きなさい。

(1) □ 熱が下がっても、寝ていないといけません。

(2) その人形は □ 中国で作られたのだろう。

(3) 私は、 □ その友だちのことを忘れない。

(4) 空には雲ひとつない。 □ 明日天気がくずれることはあるまい。

(5) つばの中は空っぽで □ 塩が残っていなかった。

(6) □ 私が医者なら、大勢の人を助けられたのに。

ことばのしくみ

いろいろなことばについて、ここで詳しくまとめておきます。

1. 名詞…物や人の名前、ことなどを表すことば。

① 普通名詞 一般的なもの、名前。【例】地球、アイスクリーム、犬、愛

② 固有名詞 人名や地名など特別なものの名前。【例】徳川家康 北海道

③ 数詞 数や量、順番を表す。【例】四番、三本、第一

2. 代名詞…人、もの、場所などを表すとき、名詞の代わりに使うことば。

① 人称代名詞 人を指し示す。【例】私、あなた、彼

② 指示代名詞 ものや場所、方角を指し示す。【例】これ、ここ、こっち

3. 動詞…人やものごとの動きなどを表すことば。言い切ると五十音のウ段になる。次に来ることばの続き方で、形が変わることを「活用」という。

【例】起きる、飛ぶ、立つ、食べる、読む、書く、寝る 【活用】遊ば(ない)、遊び(ます)、遊ぶ、遊べ(ば)、遊ば(う)

4. 形容詞…ものごとの様子や性質、状態を表すことば。言い切ると「い」の形で終わる。【例】美しい、白い、高い 【活用】赤かる(う)、赤かつ(た)、赤く(なる)、赤い、赤い(こと)、赤けれ(ば)

5. 形容動詞…ものごとの様子や性質、状態を表すことば。言い切ると「だ、である」の形で終わる。【例】静かだ、きれいだ 【活用】すなおだる(う)、すなおだつ(た)、すなおで(ある)、すなおに(なる)、すなおだ、すなおな(ひと)、すなおなら(ば)

6. 副詞…動詞や形容詞、形容動詞などの前について、状態や程度などをくわしく表すことば。【例】雨がざあざあ降っている。

7. 連体詞…名詞や代名詞の前について、くわしく説明することば。

【例】この人

8. 接続詞…文と文をつなぐ役割をすることば。

【例】学校へ行った。しかし、校門は閉まっていた。

9. 感動詞…心の動きや、呼びかけなど表すことば。【例】もしもし。やあ。

◆このほかに、いろいろなことばにくっついて使われる「助詞」「助動詞」ということばもあります。

練習問題

1

次の□にあてはまることばを、後の語群から選び書きなさい。

- (1) 大勢の前で名前を呼ばれ、その少女は□と前へ進み出た。
- (2) ただいま□こみ合っております。
- (3) 東京デイズニールランドへは、これまで□行ったことがない。
- (4) 複雑な迷路を抜け出したのは、□一人だけだった。
- (5) □明日晴れたなら、公園に行こう。
- (6) ぼくは□父とジョギングをする。
- (7) こんなに雨が降っているんだ。□だれも来はしまい。
- (8) 痛めた手が気になるのか、□右手をおさえていた。
- (9) この足跡は、□オオカミのものだろう。
- (10) 雪に太陽の光があたってきらきら光る。□宝石のようだ。
- (11) ラーメン屋の行列は□長くなってしまった。
- (12) 手紙をもらった母の喜ぶ顔が□目に浮かぶ。

全く しきりに まるで 非常に ありありと たちまち
 だだ しばしば おそらく よもや おずおずと もし

2

次の——の意味を、後のア～コから選び、記号で書きなさい。

- (1) 君はつくづくお人好しだね。 []
- (2) みんなの前であえて目立つ必要はないじゃないか。 []
- (3) 久美の手には、ごく小さな貝がらがにぎられていた。 []
- (4) あわよくば次の舞台で、主役になれそうだ。 []
- (5) みんなおのずから助けの手を差しのべた。 []
- (6) あなたは、いたずらに誤解を招くことをしています。 []
- (7) ケンはしばらく見ないうちに背がのびていた []
- (8) ウサギはおずおずとえさに近寄ってきた。 []
- (9) 十年後の自分がどうなっているかふと考えた。 []
- (10) 長い行列はようやく動き始めた。 []

ア きわめて イ わざわざ ウ うまくいったら
 エ 急に思いついて オ 意味もなく カ しばらくたって
 キ ひさしぶり ク しげんに ケ おそろおそろ
 コ 深く感ずるさま

5
ことば編 ⑤

P 18

- 例題 ① (1) 原因 (2) 軽視 (3) メジャー
例題 ② (1) 結論 (2) 概して (3) 確固

■ 解説 ■

- (1) 環境問題について自分の意見をまとめた、という内容である。
よって「結論」がふさわしい。

P 19

- 例題 ③ (1) 考察 (2) 相互 (3) 対極
例題 ④ (1) つじつま (2) 対象
例題 ⑤ (1) 背景 (2) 把握 (3) 本来
例題 ⑥ (1) ポジティブ (2) キャンペーン (3) ニュアンス

P 20

◇ 練習問題 ◇

- 1 (1) 根拠 (2) 対象 (3) 結論 (4) 把握 (5) 軽視 (6) 展開
(7) 確固 (8) 漠然 (9) 独自 (10) 考察 (11) 不可欠 (12) 相応
2 (1) エ (2) ケ (3) ア (4) ① イ ② ク (5) オ (6) カ
(7) ウ (8) キ

P 21

◆ 応用問題 ◆

- 1 (1) エ (2) イ (3) ウ (4) イ (5) エ (6) エ (7) イ (8) ア

■ 解説 ■

- (1) 「物語の裏にある事がらを調べる」という意味である。
(2) 「ある性質がそれだけに存在する」という意味である。
(3) 「プリンはいまいことがあたりまえである」という意味である。

6
ことば編 ⑥

P 22

- 例題 ① (1) いたずらに (2) ありありと (3) おずおずと
(4) あわよくば

- 例題 ② (1) ただ (2) しばらく (3) ごく

- 例題 ③ (1) ふと (2) ようやく (3) たちまち

- 例題 ④ (1) たとえ (2) おそらく (3) けっして (4) よもや

- (5) 全く (6) もし

2

〈解答例〉

- (1) ・漠然とした説明なので、きつとつじつまがあわなくなるよ。
彼は、予想外の展開に、つじつまをあわせようと必死だ。
(2) ・原因と結果は、相互に深く結びついている。そこで、「寝坊したので遅刻した」という一文について考察してみよう。
・メジャーな音楽は、対象が幅広く、売上を重視している。
一方、マイナーな音楽は、作り手のニュアンスを大切にしている。

- (4) 「判断のよりどころ」という意味である。
(5) 「よく理解できていない」という意味である。
(6) 「年齢にあった服装をしない」という意味である。
(8) この場合、「一つの態度や方法などを始めから終わりまで通すこと」という意味で使われている。よってアが正解。

■ 解説 ■

- (5) 「つぼの中は空っぽ」とある。まるで残っていないことがわかるので、「全く」がふさわしい。

P 24

◇ 練習問題 ◇

1

- (1) おずおずと (2) 非常に (3) 全く (4) ただ (5) もし
(6) しばしば (7) よもや (8) しきりに (9) おそらく

2

- (10) まるで (11) たちまち (12) ありありと
(1) コ (2) イ (3) ア (4) ウ (5) ク (6) オ (7) キ (8) ケ
(9) エ (10) カ

P 25

◆ 応用問題 ◆

1

- (1) イ (2) エ (3) ウ (4) ア (5) ウ (6) イ (7) エ

■ 解説 ■

- (7) 「非常に」は「大変」という意味である。よってエが正解。

2

- (1) 妹はめったに手伝わない。
(2) 彼は剣道の経験がほとんどない。
(3) たとえ時間に間に合わなくても行く。
(4) 彼はけっして約束を破らない。
(5) まるで空に赤い絵の具をぬったようだ。

■ 解説 ■

- (1) 「めったに〜ない」を使う。文末は否定形になる。「めったに妹は〜」の順番も可。

7

慣用句編 ①

P 26

例題 ①

- (1) 油を売る (2) うのみにする (3) 青菜に塩

例題 ②

- (1) 片棒をかつぐ (2) しり馬に乗る

例題 ③

- (1) 水を差す (2) ばつが悪い (3) 水に流す

例題 ④

- (1) 鼻であしらう (2) 鼻を明かす (3) 一目置く
(4) 目を細くする

P 27

3

〈解答例〉

- (1) ・もし私が魔法を使えるなら、空を飛びたいと思う。
・もしタイムマシンがあったら、ぼくは未来に行く。
(2) ・雲の様子からすると、おそらく明日は雨だろう。
・今年の夏休みは、おそらくいそがしくなるだろう。

- (2) 「ほとんど〜ない」を使う。文末は否定形になる。「ほとんど彼は〜」「彼はほとんど〜」の順番も可。
(3) 「たとえ〜でも」を使う。「どんなことがあっても」という内容になる。「時間にたとえ〜」の順番も可。
(4) 「けっして〜ない」を使う。文末は否定形になる。「けっして彼は〜」「約束をけっして〜」の順番も可。
(5) 「まるで〜ようだ」を使う。たとえの表現になる。「空にまるで〜」の順番も可。



◆◆◆学習内容◆◆◆

ご家庭への通信欄

国語実践クラス	
学習内容	テキスト課題 漢字テスト、ニュース要約、語彙など
宿題	①プリントの残り すべて(ノート等でやってもかまいません) ②テキスト「ロジカル国語表現」(授業時に指示します) ③漢字テスト

塾への通信欄
